

# 緑豊かな清流を求め

## 栗山川シンポジウム



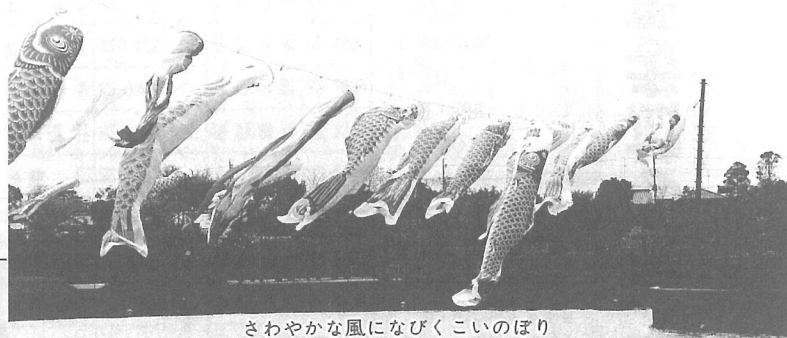
きれいな栗山川を取り戻そうと開催されたシンポジウム

「緑豊かな清流をもとめて」をテーマとした「栗山川シンポジウム」が、3月30日に光町民会館で開催され、横芝町・光町の栗山川の環境問題などに関心のある方々約300名が「町づくりは水辺から」を演題とした基調講演や、實川、向後両町長などがパネラーとなったパネルディスカッションに耳を傾けました。

川は地域住民にとってかけがえのない財産であり、古来から川と人との関わりは延々と続いてきました。しかし、現状を見つめたとき「川は汚い、川は危険」などのイメージが強く、本来の人とのより良い関係を取り戻さなくてはならなくなっています。

この貴重な川を見つめ合い「人と川、そして自然」とのより良い関係を未来へ引き継ごうと行われた第1回目の栗山川シンポジウムは、大盛況のうちに幕を閉じました。

なお、第2回目は横芝町で開催される予定です。



さわやかな風になびくこいのぼり

## さわやかな風に吹かれ 息を吹き返したこいのぼり

5月のさわやかな風になびく「こいのぼり」が今年も蘇りました。

4月20日(日)、町観光協会と町商工会、生き生き横芝まちづくり推進協議会のみなさんが、訪れる人たちの心をなごませようと、町民の「こいのぼり」として親しまれている「ふれあい坂田池公園」の空にこいのぼりをおよがせました。

この催しは、坂田池が農業かんがい用水池として大正8年に完成したことになんで、同じ8年となった昨年からはじめて、休日には家族連れなどで賑わうこの公園の、初夏の風物詩として5月10日ごろまでご覧いただけます。

## ながすくじらのひげを寄贈

このほど、東町にお住まいの北田實さんから、町内の各小学校に「くじらのひげ」の標本が寄贈されました。

子どもたちもこの「ながすくじらのひげ」を見て、鯨の巨大さを想像することでしょう。大変貴重なものをありがとうございました。

この「ながすくじらのひげ」は、北田さんが以前捕鯨船団の母船に乗組員として乗船していたときに、南氷洋上で捕獲したものを記念として家で大事に保管していたもので、小学生の情操教育に役立つならばと、今回寄贈してくれたものです。

